JASDAQ

平成26年１月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年12月３日

上場会社名　　株式会社アマガサ　　上場取引所　東
コード番号　　3070　　ＵＲＬ　http://www.amagasa-co.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）天笠 竜蔵
問合せ先責任者　（役職名）経営企画室長　　（氏名）西山 泰敬　　ＴＥＬ　03-3871-0111
四半期報告書提出予定日　　平成25年12月12日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年１月期第３四半期の連結業績（平成25年２月１日～平成25年10月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年１月期第３四半期	5,393	12.4	273	△11.5	287	△8.1	172	△4.9
25年１月期第３四半期	4,797	5.3	308	18.6	312	20.5	181	71.6

（注）包括利益　　26年１月期第３四半期　187百万円（△1.9%）　　25年１月期第３四半期　191百万円（80.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年１月期第３四半期	92.59	－
25年１月期第３四半期	99.05	－

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年１月期第３四半期	6,206	1,975	31.8	1,060.37
25年１月期	5,417	1,817	33.5	975.55

（参考）自己資本　　26年１月期第３四半期　1,975百万円　　25年１月期　1,817百万円

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり純資産を算定しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年１月期	－	0.00	－	3,200.00	3,200.00
26年１月期	－	0.00	－		
26年１月期（予想）				16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　　無

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。なお、当該株式分割の効力発生日は平成25年２月１日としておりますので、平成25年１月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施いたしました。

３．平成26年１月期の連結業績予想（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,556	6.6	300	△6.5	303	△6.7	174	△8.4	93.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）詳細は、添付資料３ページ「（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年１月期３Ｑ	1,920,000株	25年１月期	1,920,000株
②　期末自己株式数	26年１月期３Ｑ	56,800株	25年１月期	56,800株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年１月期３Ｑ	1,863,200株	25年１月期３Ｑ	1,831,010株

当社は、平成25年２月１日付で普通株式１株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、８月の有効求人倍率が0.95倍となり６ヶ月連続して改善したほか、７－９月期のＧＤＰ成長率が４四半期連続してプラスとなるなど、緩やかな景気回復基調がみられました。

当社が属する婦人靴業界におきましては、大手各社による低価格路線の継続がみられました。

こうした環境のもと、当第３四半期連結累計期間において当社は、高付加価値商材の積極的な投入、適正価格の維持並びにイレギュラー商材の拡販に努めました。

小売事業においては、店頭ニーズを反映したＭＤの徹底と、接客レベルの向上に注力した結果、既存店売上が前年を上回ったことに加え、稼働店舗数が過去最多となったことから売上高については、上場来最高となりました。また、JELLY BEANS河原町ＯＰＡ店、ららぽーと横浜店、静岡パルコ店を移設リニューアルする一方、GinetteなんばＣＩＴＹ店、プレミアヨコハマ店、JELLY BEANSららぽーと柏の葉店、アトレ秋葉原店、平塚ラスカ店、アトレ新浦安店、メトロ・エム後楽園店、トレッサ横浜店を出店しました。これにより、10月31日現在の直営店舗数は28店舗となりました。

卸売事業においては、アパレル顧客向け販売が計画を大きく下回ったものの、百貨店及び通販事業者向け販売が計画を上回ったほか、専門店顧客向け販売がプラスに転じたことから売上高は前年同期比10％増となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間につきましては、売上高5,393百万円（前年同期比12.4％増）、営業利益273百万円（同11.5％減）、経常利益287百万円（同8.1％減）、四半期純利益172百万円（同4.9％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,602百万円（前連結会計年度末は1,826百万円）となり、776百万円増加しました。主な理由は、売上債権の増加（807百万円から1,446百万円へ638百万円増）、商品在庫の増加（218百万円から467百万円へ249百万円増）及び現金及び預金の減少（784百万円から674百万円へ110百万円減）であります。

また、固定資産の残高は、3,604百万円（前連結会計年度末は3,591百万円）となり、12百万円増加しました。主な理由は、固定資産の取得による増加（128百万円増）、減価償却による減少（147百万円減）、差入保証金の増加（42百万円増）であります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、2,158百万円（前連結会計年度末は1,536百万円）となり、621百万円増加しました。主な理由は、仕入債務の増加（465百万円から907百万円へ441百万円増）、未払法人税等の増加（27百万円から87百万円へ60百万円増）及び１年内返済予定の長期借入金の増加（815百万円から860百万円へ45百万円増）であります。

また、固定負債の残高は、2,072百万円（前連結会計年度末は2,063百万円）となり、８百万円増加しました。主な理由は、運転資金の調達による長期借入金の増加（1,834百万円から1,879百万円へ44百万円増）、退職給付引当金の増加（90百万円から98百万円へ８百万円増）及びリース債務の減少（121百万円から77百万円へ44百万円減）であります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,975百万円（前連結会計年度末は1,817百万円）となり、158百万円増加しました。主な理由は、四半期純利益の計上172百万円による増加、為替換算調整勘定の増加（４百万円から17百万円へ13百万円増）及び配当金の支払い29百万円による減少であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成25年９月３日付に発表いたしました「平成26年１月期第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年２月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	784,896	674,150
受取手形及び売掛金	807,593	1,446,124
商品及び製品	218,153	467,826
その他	21,038	20,525
貸倒引当金	△5,600	△6,300
流動資産合計	1,826,082	2,602,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,586,931	1,602,599
土地	1,529,346	1,529,346
その他（純額）	141,377	101,996
有形固定資産合計	3,257,655	3,233,942
無形固定資産	89,811	72,789
投資その他の資産	244,288	297,288
固定資産合計	3,591,754	3,604,020
資産合計	5,417,836	6,206,347
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,594	907,536
1年内返済予定の長期借入金	815,307	860,388
未払法人税等	27,453	87,807
賞与引当金	－	33,471
返品調整引当金	5,400	8,100
その他	223,035	261,077
流動負債合計	1,536,790	2,158,380
固定負債		
長期借入金	1,834,938	1,879,201
退職給付引当金	90,743	98,851
その他	137,716	94,219
固定負債合計	2,063,397	2,072,272
負債合計	3,600,188	4,230,653

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,100	308,100
資本剰余金	230,600	230,600
利益剰余金	1,335,330	1,478,039
自己株式	△71,056	△71,056
株主資本合計	1,802,973	1,945,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,440	12,044
為替換算調整勘定	4,234	17,967
その他の包括利益累計額合計	14,674	30,011
純資産合計	1,817,647	1,975,694
負債純資産合計	5,417,836	6,206,347

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年２月１日 至　平成25年10月31日）
売上高	4,797,176	5,393,678
売上原価	3,033,228	3,450,394
売上総利益	1,763,948	1,943,283
販売費及び一般管理費	1,455,032	1,669,747
営業利益	308,916	273,535
営業外収益		
仕入割引	35,931	41,258
その他	14,985	17,063
営業外収益合計	50,917	58,321
営業外費用		
支払利息	37,687	31,718
その他	9,360	12,693
営業外費用合計	47,048	44,412
経常利益	312,785	287,444
特別利益		
固定資産売却益	－	113
特別利益合計	－	113
特別損失		
固定資産除却損	400	80
特別損失合計	400	80
税金等調整前四半期純利益	312,385	287,477
法人税等	131,016	114,956
少数株主損益調整前四半期純利益	181,368	172,520
四半期純利益	181,368	172,520

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年２月１日 至　平成25年10月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	181,368	172,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,983	1,604
為替換算調整勘定	98	13,732
その他の包括利益合計	10,081	15,337
四半期包括利益	191,449	187,858
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,449	187,858
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。